

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月25日 (2008.12.25)

【公開番号】特開2005-99772(P2005-99772A)

【公開日】平成17年4月14日 (2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-015

【出願番号】特願2004-244833(P2004-244833)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/30 K

G 0 9 G 3/20 6 1 1 H

G 0 9 G 3/20 6 2 4 B

G 0 9 G 3/20 6 4 1 D

G 0 9 G 3/20 6 7 0 K

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月6日 (2008.11.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の走査線と、

複数のデータ線と、

前記複数のデータ線と交差する方向に延在する複数の電源線と、

前記複数の走査線と前記複数のデータ線との交差に対応して設けられた複数の画素回路と、を含み、

前記複数の電源線のうちの一の電源線には、前記複数の画素回路のうち、前記複数のデータ線のうちの一のデータ線に沿って隣り合うように配置された第 1 の画素回路及び第 2 の画素回路が接続されていることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 2】

前記複数の電源線のうち隣り合う 2 つの電源線の一方の電源線の電圧値の経時変化は、当該 2 つの電源線の他方の電源線の電圧値の経時変化に対して所定時間分シフトしていることを特徴とする請求項 1 に記載された電気光学装置。

【請求項 3】

前記複数の画素回路の各々は、

前記複数のデータ線の一つのデータ線を介して供給されたデータ電流またはデータ電圧に応じた電荷を保持するキャパシタと、

前記キャパシタに保持された前記電荷に基づいて導通状態が設定される駆動トランジスタと、

前記導通状態に応じて輝度が設定される電気光学素子とを有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載された電気光学装置。

【請求項 4】

前記 2 つの電源線のうちの一方の電源線は、前記駆動トランジスタの一方の端部に接続されて 2 つの電源線のうちの他方の電源線は、前記駆動トランジスタの他方の端部と前記電気光学素子との間のノードに接続されていることを特徴とする請求項 2 に記載された電気光学装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の電気光学装置を備えた電子機器。